

# 田和山の森から

## 令和7年度総会

令和7年度総会が、4月11日乃木公民館において、15名の会員の参加し開催されました。

総会において6年度の事業報告、収支決算及び7年度の計画案、予算案いずれも満場一致で承認されました。

総会終了後に恒例の懇親会も行い、日頃の作業を癒やしました。

なおこの日は、久しぶりに石井顧問も元気な姿で参加されました。

## 4月の作業から

### タケノコ掘り

4月に入り、田和山のモウソウチク林にもタケノコが発生するようになり、19日には、今年一回目のタケノコの収穫を行った。沢山のタケノコが掘れました。現地で皮を剥ぎ、あく



抜きを行い持ち帰りました。



(写真は、三つ並んだタケノコと皮剥の様子)

## 5月の予定

### キンランを楽しむ会

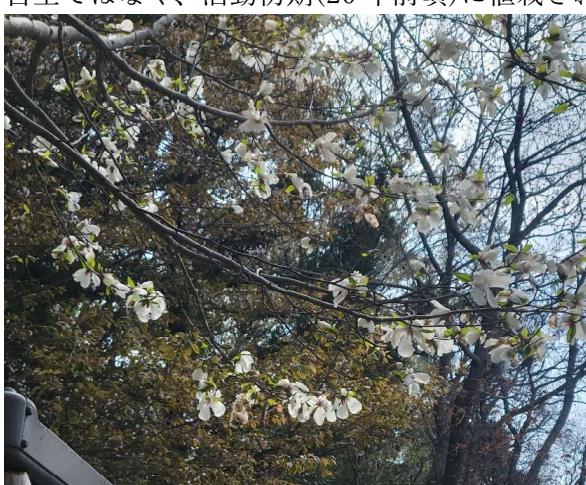
期日：令和7年5月6日（火）10時から  
(会員は8:30集合)

主たる作業

- ・タケノコ掘り
- ・キンランを楽しむ会の準備作業(発生株数の確認を含みます)
- ・落取りや、シイタケの本伏
- ・カブトムシの養殖の開始

## 田和山の樹木 第60回 コブシ

コブシといえば、「白樺青空南風 コブシ咲くあの丘 北国ああ北国の春」という歌詞と繋がり北方系の樹木をイメージしますが、日本各地の山野にある樹木です。しかし、松江市近郊でコブシと同じ時期に、よく似た白い花を咲かせるのはタムシバという近縁の別の樹木です。西日本では自生するコブシは少なく、よく見かけるのは街路樹、公園、庭園等で植栽されたものです。田和山も自生ではなく、活動初期(20年前頃)に植栽されたコブシが数本あります。



コブシは、サクラとともに春の訪れを告げる花木で、ヤマザクラと同じく、コブシもタネまきや田植えの時期を知らせる花として、古くから農耕と密接な関係がありました。そのため、両種ともに田打桜、種蒔桜、田植桜等農作業に関係する別名があります。タムシバとの違いは写真右のように、花の基部に葉がついているのがコブシです。(右の写真の左がコブシで右がタムシバ)



今後の活動予定 5月2日(金)、5月6日(火)(キンランを楽しむ会)、5月9日(金)、5月17日(土)、5月23日(金)、5月30日(金)、6月6日(金)、6月13日(金)、6月21日(土)、6月27日となります。時間は13:30からです。ただし、土曜日は9:00から始めます。

第247号  
令和7年5月2日  
里山を育てる会